

『気象ビッグデータの活用による地域特性を考慮した 72 時間先までの「農業用気象予報システム」の開発と、それを利用した新たな営農管理の検討』に係る国庫補助採択について

えひめ産業振興財団が昨年 8 月に設立（県補助金を活用）した「えひめ IT ソリューション研究会」において取り組んできた標記事案について、同研究会の有志により結成された『坂の上のクラウドコンソーシアム』※が農林水産省の「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」（平成 26 年度新規事業）に応募申請を行ったところ、このたび採択となりましたのでお知らせします。

なお、第 1 回コンソーシアム打ち合わせ会は、4 月 11 日（金）に開催する予定です。詳細は決まり次第、別途お知らせいたします。

※コンピューターシステム(株)【総括】、野本農園、(株)ウイン、(株)大栄電機工業、(株)ロジック、(株)ハレックス、(特非)ITC 愛媛、(公財)えひめ産業振興財団の 8 社・団体等が参加。
(オブザーバー: 愛媛県、愛媛大学農学部、愛媛県農業法人協会、サイボウズ(株))

◆プロジェクト概要

1 テーマ

農業用「72 時間先までの気象予報システム」を活用した「コストダウン」及び「品質向上・被害防止」の実証実験

2 目的

気象ビッグデータ解析による農業用高精度気象予報(1kmメッシュ、72 時間(3 日)先まで)を活用した世界初の農業用気象システムを構築し、精度の向上と露地栽培におけるリスク回避と生産コストのダウンの手法、並びに農業者が安価で利用しやすいシステム等を検討する。

3 具体的な取り組み内容

(1)ハレックス社の気象情報 API を活用した農業用の高精度気象予報システムを構築し、72 時間先までの気象予報及び高温・低温障害予知アラート等を提供することにより、天災や収穫減少のリスクコントロールとコストダウンの実証を行う。

(2)気象予報を活用した農作業を分析するため、農家に対して一定間隔で聞き取り調査ほか、農作業の効率化やコストダウン、品質向上に繋げるためのデータ収集・分析を行う。

【お問い合わせ先】

公益財団法人えひめ産業振興財団
企画情報課長 神尾泰昭
TEL089-960-1110
FAX089-960-1107